

申請用紙記入上の注意

- 1. 研究助成申請には、必ず財団指定申請書を使用して下さい。財団ホームページからダウンロードできます。**
申請用紙に必要な事項をワープロで記入して下さい。用語は日本語とします。申請書は必ず両面印刷し3枚（6頁）以内に収め、申請者所属の事務方を通して郵送にて応募（申請）して下さい。
財団ホームページ：<http://www.terumozaidan.or.jp>
- 2. 主たる研究者：**一般研究助成では、実際に研究を実施する方です。研究実施の代表者ではありません。特定研究助成では、共同研究グループを代表し、研究の遂行（研究成果の取りまとめを含む）に関して全ての責任を持つ方です。
- 3. 共同研究者の同意書（特定研究助成のみ）：**申請書に共同研究者の同意書を添付し、申請して下さい。一般研究助成では、共同研究者の同意書は必要ありません。
- 4. 申請研究テーマ名：**30字以内にして下さい。
- 5. 申請研究テーマの対象領域（一般研究助成のみ）：**申請研究テーマの最も適切な領域を一つ指定して下さい。
- 6. 推薦者：**所属教室・講座の長ではありません。募集・推薦要項を参照して下さい。
- 7. 主たる研究者の略歴：**最終卒業学校以降を記載して下さい。
- 8. 本研究テーマに関する他の民間助成機関への申請・採択の有無：**申請（応募）時点で記載して下さい。当財団の選考には関係ありませんので、正確に記載して下さい。
- 9. 申請内容要約：**わかりやすく必ず400字以内にまとめて下さい。
- 10. 研究目的または動機：**申請研究テーマの目的は何かを明確にして下さい。生命科学分野でどのように役立てるために行なうとしているのか等々。また、主たる研究者（申請者）がどのようなことからこの申請研究テーマが発想されたのかを記載するところです。
- 11. 研究実施計画の概要：**どのようにして目的達成ができるのか。現時点で考えられる実験・試験プロセスを記載して下さい。特定研究助成では、共同研究者の役割分担を明確に記載して下さい。また、研究実施にあたり、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮して下さい。前述の内容について、具体的な取り組みがあれば、ここに記入して下さい。
- 12. 助成金の使途内訳：**実験機器、実験用具、試薬代等々に分けて大凡の金額を記載して下さい。
- 13. この研究テーマに関する研究者の現在までの実績の概要：**「研究目的または動機」との関係がありますので、関連付けを行い、記載して下さい。
- 14. このテーマに関する日本および外国での研究の現状：**記載の意味は、独創性・基盤的研究であるかどうかの判断になりますので、申請者が現在把握していることを正確に記載をお願い致します。
- 15. このテーマに関連する主たる研究者自身の過去5年間の論文の記載：**「研究目的または動機」との関連がありますので関連性のあるものの記載をお願いします。主たる研究者の実績論文の記載ではありません。
- 16. その他：**申請書の雛形は、Wordで作成しております。日本語入力環境によって入力の仕方に違いがあります。メニューの「ツール」から「オプション」を選び、「編集と日本語入力」を確認して下さい。日本語入力を「挿入モード」で入力にチェックが入っている場合は、申請書の各項目入力時にマウスで選択（黒に反転）してから書き込むとフォーマットがくずれません。